SC9　 ad hoc ID interoperability group

日時　2014年5月3日

場所　米国議会図書館

　Ad hoc ID Interoperability groupのリーダーであるNorman Paskin氏（Managing Agent, International DOI Foundation）によるLinked Content Coalition(LCC)に関する2013年総会からの継続報告。

・LCCはデジタルコンテンツの著作権処理を迅速に行うための組織

・LCCの目標は著作権関連データを管理することから、ライセンス契約を含む著作権処理を円滑に行うことからデジタルコンテンツを正当に利用できるようにすること

・LCC　Framework

　異なる著作権関連データ(多様なコンテンツや多様なメディアが対象）を統合するための計画で，あらゆるコンテンツやメディアが必要とする著作権を包含するものであり、所有する側にも利用する側にも役立つものである。例えば、ライセンス契約やロイヤリティ徴収といったことも含むことができる。

・LCCの立場

法的な動きについても、商業的な動きについても中立である。デジタルコンテンツが商業的なものであれ、図書館・博物館・文書館などによる文化的なものであれ、同等に扱う。さらにパブリックドメイン、孤児著作物についても特別な扱いはしない。

・ECのRights Data Integrationプロジェクトから支援を受けている